

教育相談に年長幼児が来室します。

検査で絵カードを使い、次のようなことを確認していきます。

その1

りんごとイチゴとみかんの絵カードを3枚並べます。

「この中で一番すきなのはどれですか？」と問い、子どもが選びます。

選んだ絵カードを取って、2枚の絵カードを残しておきます。

「このどちらが好きですか？」と問います。

選んだ絵カードと一番すきな絵カードを並べて、

「どちらが好きですか？」と問います。

順位付けが正しくできているか確かめます。

乗り物が好きな子どもには、電車、車、自転車の絵カードでもいいと思います。

その2

かえる、ウサギ、きつねの絵カードを用意し、並べます。

「お話しするから、よく聞いてね。」

「かえるが、とんだ。」

みつけた、みつけた。

あかい はな。」(大阪書籍の1年上国語教科書の「みんな とんだ」から)

「お話しに出てきた動物はどれですか？」

「何をみつけたのかな？」と問います。

「かえるが どうして、あかい はなを みつけたのかな？」

最初の問いに答えるのに、ことばといっしょに、絵カードの支援があります。

次の問いに答えるのに、ことばの支援しかありません。

短期記憶、集中力を確かめます。

その3

2本の鉛筆が描いてある絵カードを見せて、

「どちらが 長いですか？」と問い指さしをさせます。

「これは長い鉛筆です。」とリピートさせて、

「それでは、こっちはなんていうのかな？」と問います。

「どちらが 大きいですか？」

「どっちの足が 多いですか？」

「どっちが 強いですか？」

比較語(「ながい」と「みじかい」,「おおきい」と「ちいさい」,「おおい」と「すくない」,「つよい」と「よわい」)を正しく理解しているか確かめます。

その4、

この車のタイヤは、いくつありますか？

片側から見て、車が描いてあります。

タイヤは二つだけ見えています。

反対側にも二つありますから、正しくは四つです

このバスのタイヤはいくつありますか？

絵カードで見えるタイヤの数は、三つです。

しかし反対側にもありますから、正しくは六つです。

絵カードには視点があります。

視点の移動ができるということも確認しなければいけない大切な課題です。